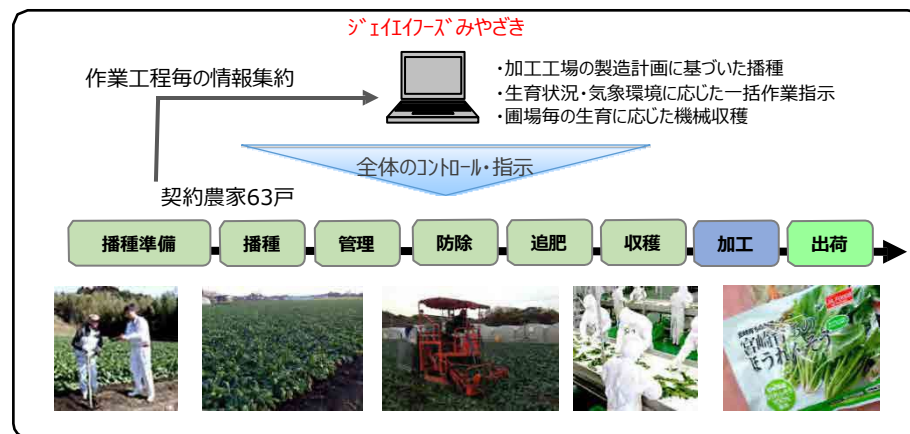


経営体の概要

- ・所在地：宮崎県西都市
- ・経営体名：（株）ジェイエフーズみやざき
- ・栽培作物、作付面積：ほうれんそう、こまつな 約109ha
- ・契約農家：49戸、255圃場（令和6年現在）

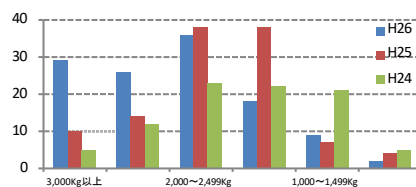
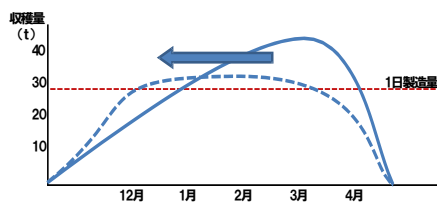
導入技術

- ・栽培管理のマニュアル化 自社製
- ・工程管理のシステム化 自社製
- ・ドローンを活用し、画像解析ソフトによる生育状況確認等



原料の安定調達

収量アップ



導入経緯

- 加工・業務用野菜産地の育成と冷凍野菜生産拡大に向けて、平成23年に冷凍野菜工場を稼働。
- 効率的かつ高品質な冷凍野菜・カット野菜の製造および販売を目指すため、冷凍野菜・カット野菜のインテグレーションモデル（生産、加工、販売まで一貫した工程管理）構築の実現に取り組む。

取組の特徴・効果

- ほうれんそう、こまつなを対象とした栽培管理マニュアルを作成。契約農家はマニュアルの栽培指示に従って作業が可能となり、生産に専念することができる。
- 契約農家のほ場位置や面積等は、生産管理システムによる一括管理を実施。これにより、複数箇所 に点在する圃場毎に適切な作業指示を行うことができる。
- 栽培期間中フィールドコーディネーター※による定期巡回を行い、現場指導を実施。その結果、収量の多いほ場数が増加。また、フィールドコーディネーターが生育状況をシステムに入力することで、収穫時期、収穫量の予測が可能となり、後工程の収穫、加工、出荷の調整に繋げることを実現。

※ フィールドコーディネーター：契約農家ほ場を巡回し栽培状況を把握・管理するスタッフ

- 工場の稼働状況と生育状況を考慮し、自社で収穫を実施することで冷凍工場への原料の安定調達を実現。